

豊島区立池袋中学校 学校経営方針

校長 平本 浩実



【教育目標】

すすんで学び実践する人

心身共に健康な人

感謝する心を持ち、責任を果たす人

今年度の学校経営の方向性

【学ぶ楽しみのある池中】～さらなる高見をめざして～

- (1) 豊島区教育委員会の教育目標と豊島区教育ビジョン2019を踏まえ、校舎一体型による小中連携校としての強みを生かす教育活動を実践します。
- (2) 温かな人間関係の中で生徒に豊かな心を育み、一人一人が学ぶ楽しみのある学校生活を創造します。
- (3) CSを生かし、社会・地域・生徒・保護者のニーズを踏まえた上で、価値観を共有した上でチームとして教育活動を実践する学校をつくりまします。

目指す学校像

～【安心と充実】～ 明日が待ち遠しい学校を求めて

- (1) 「いじめ、不登校、体罰」のない、「心の居場所」となる学級・学年・学校
- (2) 生徒同士と教職員がお互いを大切にし「心の絆」が深まる学校
- (3) 学ぶ意欲を高めるための「生徒の学習力と教師の指導力」の向上を図る学校
- (4) 保護者・地域に教育活動を開き、信頼される「共育」を実践する学校
- (5) 規範意識を育て、心豊かな言語環境をつくり生徒の「人権」を守る学校
- (6) 学習や生徒会活動、部活動等で生徒個々が「自己有用感」を高められる学校

目指す生徒像

～ 時を守り 場を清め 礼を正す池中生 ～

- (1) 自他の生命や人権を大切にし、思いやりある言葉と心を込めた挨拶ができる生徒
- (2) 進んで学び、調べ、仲間と協働でその学びを活かした豊かな表現のできる生徒
- (3) 人間関係力を高め、相手を敬い、場を清めることのできる生徒

【学年キーワード】 1年生－「学ぶ」 2年生－「伸ばす」 3年生－「生かす」

令和5年度 「知・徳・体」の育成に向けた方策の共有化（一部）

- ◎主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業づくり
- ◎「ねらい」と「まとめ」を授業開始に提示し、50分で完結させ振り返る授業
- ◎「楽しく参加できる」授業づくりの工夫と二次障害の防止・抑制
- ◎年度当初からのあいさつや返事の励行 「あいさつが響きわたる校内づくり」
- ◎不登校生徒への短期・中期・長期的対応と対策会議による未然防止
- ◎ i-check・心のアンケート等を活用した生徒理解と健全な学級集団の醸成
- ◎SGDsを意識したISS活動の充実と教科及び学年内での継続実践
- ◎地域人材の有効活用（SDGs、大学との連携、校内研究、食育指導、職場体験）
- ◎授業の受け方指導、家庭学習の活用、つまずきのある生徒への対応（指導と評価の一体化）

池袋中学校はこうありたい

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 「生徒」 | 毎日に新たな発見があり、翌日が待ち遠しく思える学校（喜びと感動） |
| 「保護者」 | 信頼感があり、通わせてよかったと思える学校（安心と信頼） |
| 「地域」 | 地域の要となり、協力したいと思える学校（誇りと共生） |
| 「教職員」 | 効率よく協働を進め、勤務に誇りの持てる学校（使命感と充実感） |